

開催決定!



性奴隷説を完全論破したラムザイヤー論文が書籍化され 日韓米で同時出版
この機に 真実勢力が東京に結集 慰安婦問題に終止符を打つ!

2024年7月10日 星陵会館

第三回 慰安婦問題を巡る国際シンポジウム 2024

30年以上も前に日本人が火を着け、国際社会に広まった日本軍慰安婦の強制連行・性奴隷説。この世紀の大嘘に対し、激しいバッシングを受けながらも米国の学者が学術論文で真実を主張。韓国の識者がソウル慰安婦像前で身の危険を顧みず歴史の真実を訴え、日本人研究者が日本国の名誉を回復すべく真実を世界に発信しています。

昨年末より慰安婦性奴隷説を完全論破したマーク・ラムザイヤー教授（ハーバード大学ロースクール）の論文が書籍にまとめられ、日本、韓国、米国でほぼ同時期に出版されました。

そして本年7月に日韓米の学者と研究者が東京に結集。慰安婦問題の嘘を一掃し、これに終止符を打つべく、国際シンポジウムを開催することとなりました。

皆様のご参加をお待ち申し上げますと共に、シンポジウムの成功に向けて、是非とも多くのご支援を賜りたく、ご協力お願い申し上げます。

星陵会館ホール(東京都千代田区永田町2-16-2) 2024年7月10日(水) 開場10時 開会10時半 閉会17時予定

第一部 基調講演 10:30



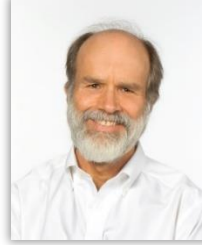
西 岡力
麗澤大学特任 教授
歴史認識問題研究会 会長

歴史認識問題としての慰安婦問題



李 栄薫
李承晩学堂 校長

日本軍慰安婦の問題が韓国社会に及ぼす破滅的効果



J・マーク・ラムザイヤー
ハーバード大学ロースクール 教授

歴史問題と米国大学の問題 — これからどうすべきか?

第二部 研究発表 13:30

※昼休憩12:30-13:30



柳 錫春
元 延世大学 教授

延世大講義
名誉毀損刑事事件
第二審の争点



金 柄憲
国史教科書研究所 所長

2023年日本国を相手にした慰安婦訴訟判決文と教科書の記述



李 宇衍
落星台経済研究所 研究委員

韓国メディアの慰安婦問題に関する報道動向



松木 國俊
国際歴史論戦研究所
上席研究員

慰安婦訴訟～日韓関係を破壊する個人請求権 復活の危険



福井 義高
青山学院大学 教授

慰安婦をめぐる事実と価値判断の間：経済分析の観点から



ジェイソン・M・モーガン
麗澤大学 准教授

The Comfort Women Hoax ~慰安婦問題という詐欺の終焉とこれからの課題

第三部 登壇者全員からの提言

参加費 2千円 (資料冊子込) 予約不要

シンポジウム後の懇親会 (有料) に参加希望の方はお問い合わせください

[主催] 国際歴史論戦研究所 [協催] 歴史認識問題研究会 [後援] 産経新聞社 JAPAN Forward



(問合せ) 国際歴史論戦研究所 事務局 i-rich.org
MAIL info@i-rich.org TEL 03-6912-0047 FAX 03-6912-0048

登壇者プロフィール



ジョン・マーク・ラムザイヤー

ハーバード大学ロースクール三菱日本法研究教授。企業法、日本の法関連の授業の教鞭をとる。1954年シカゴ生まれ。幼少期を宮崎県で過ごし、小学校卒業まで地元の学校に通う。中高は東京で米国の教育を受け、大学進学を機に米国に帰国。1982年、ハーバード大学ロースクールで優秀者 (magna cum laude) として卒業、法務博士を授与される。1985-86年、フルブライト研究員として東京大学法学部に在籍。1986-92年はUCLAで教鞭とり、89年から教授、1992-98年にシカゴ大学教授を務める。1998年よりハーバード大学で現職。2018年、旭日中綬賞を受賞。東京大学、一橋大学、東北大学、早稲田大学でも日本語で授業を行う。英語と日本語で多くの著書、共著、論文を発表。2023年に日本で『慰安婦性奴隷説をラムザイヤー教授が完全論破』、2024年に韓国で『ハーバード大学教授が語る慰安婦問題の真実：太平洋戦争における売春契約』を出版。モーガン氏との共著『The Comfort Women Hoax』では、慰安婦の契約慣行と現代の米国における学問の自由への脅威について論じている。



ジェイソン・マイケル・モーガン

麗澤大学准教授・モラロジー道德教育財団道德科学研究所客員研究員。2016年ウィスコンシン大学で博士号を取得。一般社団法人日本戦略研究フォーラム首席研究員を経て、2020年4月より現職。著書に『アメリカはなぜ日本を見下すのか?』(ワニブックス)、『アメリカン・バカデミズム』(育鵬社)、『語られざるLGBTのリアル』(我那覇真子氏と共著) (ビジネス社)、『日本国憲法は日本人の恥である』等がある。秦郁彦著『慰安婦と戦場の性』の英訳者。

李栄薫 (イ・ヨンファン)

ソウル大で韓国経済史研究で博士學位を受ける。韓神大、成均館大を経てソウル大経済學部教授に就任する。(韓国)経済史學會の会長として働く。定年退職後は李承晩學堂の校長として活動している。『朝鮮後期社會經濟史』(ハンギル社、1988年刊)、『數量經濟史で捉え直す朝鮮後期』(共著、ソウル大學校出版部、2004年刊)、『大韓民國の物語』(キパラン、邦訳は文藝春秋)、『韓國經濟史』I・II (一潮閣、2016年刊、Iの邦訳は春風社)などの著書がある。



柳錫春 (リュ・ソクチュン)

1955年生まれ。1986年米イリノイ大学で博士号を取得。1987年から2020年まで延世大学社会学部教授を務める。韓国で出版された『ハーバード大学教授が語る慰安婦問題の真実』(メディアウォッチ)の記者の一人。2019年講義で述べた慰安婦についての発言で、元慰安婦から名誉棄損罪で訴えられ、2020年韓国検察に在宅起訴される。2021年1月ソウル西部地裁にて、争点となっていた三つの発言のうち二つに無罪の判決が下された。



金柄憲 (キム・ビョンホン)

成均館大学校漢文学科の修士および博士を修了。韓国の歴史学者、大学講師。韓国国史教科書研究所所長、慰安婦法廃止国民運動代表、国史問題研究所理事を務めている。2019年から、在大韓民国日本国大使館前の少女像撤去を求める集会を開いており、2022年1月には経済学者の李宇衍氏らと慰安婦詐欺清算連帯を結成。近著『赤い水曜日、30年間の慰安婦歪曲』の日本語版を文藝春秋より出版。



李宇衍 (イ・ウヨン)

成均館大学校経済学科で「朝鮮時代-植民地期山林所有制度と林相の変化に関する研究」で博士号(韓国経済史専攻)を取得。ハーバード大学経済学科訪問研究員、九州大学韓国学術センター交換教授を務め、現在落星堡経済研究所の研究委員。著書に『韓国の山林所有制度と政策の歴史1600~1987』(2010年)、『韓国の長期統計I、II』(2018年、共著)、『反日種族主義』(2019年、共著)、訳本『徴用工なき徴用工問題』(2020年)、『慰安婦と戦場の性』(2022年)。2019年12月から毎週水曜日に日本大使館前で「慰安婦銅像撤去、水曜集会中断、正義連解体」を求め、正義連水曜集会反対デモを行い200回を越えた。



西岡力 (にしおかつとむ)

専攻：韓国・北朝鮮地域研究。現職：モラロジー道德教育財団道德科学研究所教授・歴史研究室長、麗澤大学特任教授、「救う会」全国協議会会長、歴史認識問題研究会会長。韓国・延世大学留学、筑波大学大学院地域研究科修了、外務省在韓国専門職員、「現代コリア」編集長、東京基督教大学教授などを経て現職。第30回「正論大賞」受賞。著書に『よくわかる慰安婦問題』※、『でっちあげの徴用工問題』※、編著『朝鮮人戦時労働の実態』、『日韓「歴史認識問題」40年』、『わが体験的コリア論』など多数。(※は韓国語訳も出版)



福井義高 (ふくいよしたか)

青山学院大学大学院国際マネジメント研究科教授。1962年京都市生まれ。1985年東京大学法学部卒業、1998年カーネギーメロン大学大学院博士課程修了(Ph.D.)。日本国有鉄道、東日本旅客鉄道株式会社、東北大学大学院経済学研究科助教授を経て、現職。CFA。専門は会計情報・制度の経済分析。近著：『鉄道ほとんど不要論』(中央経済社)、『教科書に書けないグローバリストに抗したヒトラーの真実』(ビジネス社)、『優しい日本人が気づかない残酷な世界の本音』(川口マーン恵美氏との共著、ワニブックス)。



松木 國俊 (まつきくにとし)

1950年熊本県生まれ。1973年慶応義塾大学法学部卒業。1980年~84年豊田通商ソウル事務所勤務。現在、朝鮮近現代史研究所所長。新しい歴史教科書をつくる会副会長、国際歴史論戦研究所首席研究員。著書『ほんとうは「日韓併合」が韓国を救った!』(WAC出版)他多数。監修に百田尚樹著『今こそ韓国に謝ろう』(日本語版及び韓国語版)など。

ご支援のお願い

シンポジウムの成功に向けてご支援いただけますようお願い申し上げます

◆郵便振替口座 00180-9-421130

口座名 国際歴史論戦研究所

◆ゆうちょ銀行

店名 ○一九店 (ゼロイチキューテン)

*支店名は「セ」を指定して調べてください。

当座 口座番号 0421130

口座名 国際歴史論戦研究所

◆三菱UFJ銀行

春日町支店 普通預金 口座番号 1176278

シヤ) コクサイレキシロンセンケンキュウジヨ

◆クレジットカード

